

LB システムコマンドー9 トラブル集(FAQ 集)

LB システムコマンドー9 を使用する際の「よくある質問集」です。

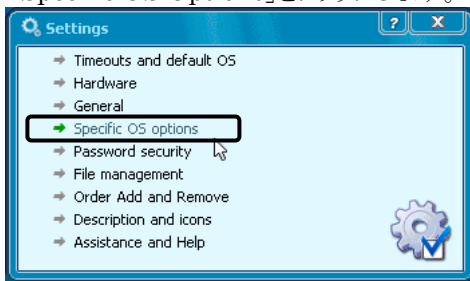
- Q1**
- システムコマンドーをインストールした後、既存のパーティションが見つからなくなりました。
 - パーティションの操作を行った後、OSを起動させると既存のパーティションが見えなくなっていました。

A1 システムコマンドーが既存のパーティションを保護するために、自動的に NTFS パーティションを隠していることが原因です。この設定を解除することで、既存のパーティションが参照できるようになります。手順は以下の通りです。

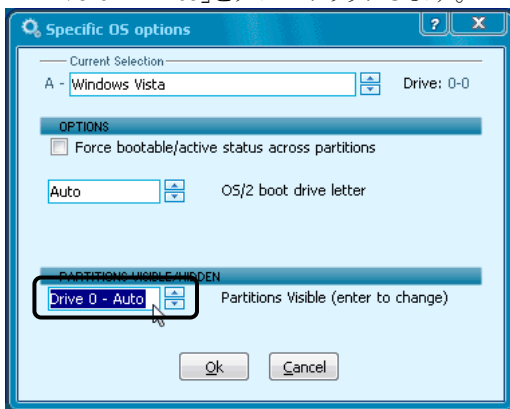
1. OS 選択メニューで「設定」をクリックします。



2. 「Specific OS Options」をクリックします。

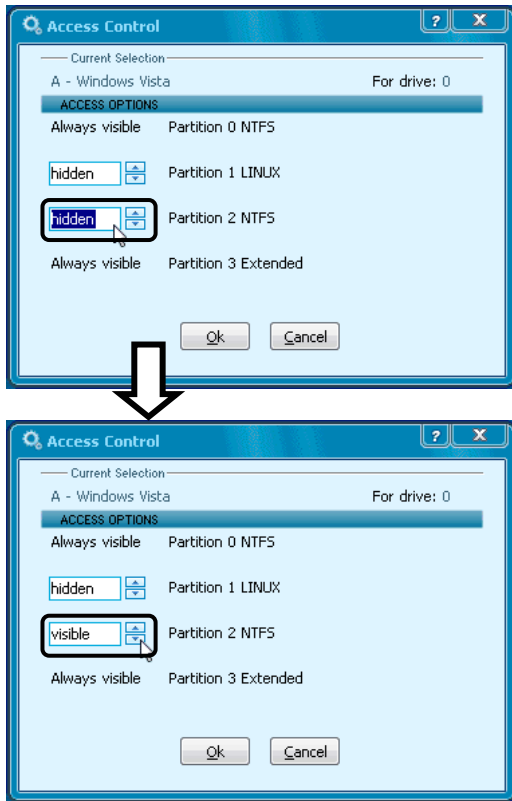


3. 「Drive 0: - Auto」をダブルクリックします。



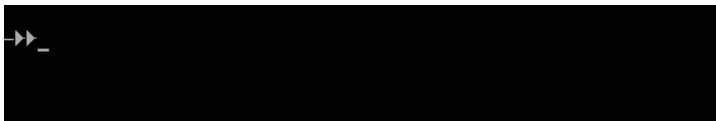
※ 複数のドライブが接続されている場合には矢印のボタンでドライブを切り替え、すべてのドライブで次の設定を行ってください。

4. 「hidden」となっている箇所の矢印ボタンをクリックし、「visible」に変更します。



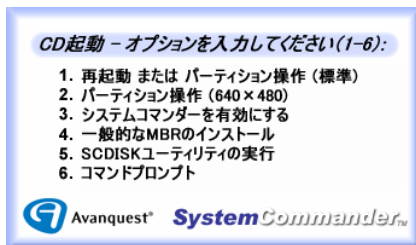
5. [OK]ボタンを2回クリックし、[Esc]キーを押してOS 選択メニューに戻ります。OS を起動し、パーティションが参照できるのかを確認してください。

Q2 システムコマンドーをインストール後、システムを再起動すると黒い画面に白い三角記号が表示され、カーソルが点滅していません。どうしたらいいですか？



A2 この現象は、システムコマンドーのインストール先のCドライブが圧縮されている場合に主に発生します。まず、下記の手順に従ってOSが起動できるようにしてから、圧縮を解除してください。

1. システムコマンドーの製品CDからPCを起動します。
2. 以下の画面が表示されたら、「4」キーを押します。



3. システムコマンドーの製品CDをドライブから取り出し、システムを再起動して、OSが正常に起動することを確認します。
4. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「システムコマンドー9」でユーティリティウィザードを起動します。
5. 「システムコマンドーを無効にする/アンインストール」を選択して、システムコマンドーを完全にアンインストールします。
6. Cドライブの圧縮を解除した後、システムコマンドーを再インストールします。

Q3 システムコマンドーのインストール後、PC を再起動させると、『Boot error Y-ZZ』というエラーメッセージが表示されて OS が起動できません。

A3 OS を起動する方法は、『Q2』を参照してください。

この問題は、ファイルの断片化が原因の可能性があります。OS を起動したらシステムコマンドーをアンインストールしてください。デフラグを行った後、再度システムコマンドーをインストールして動作を確認してください。なお、Windows のデフラグは一度の実行では断片化を完全に解消できない場合がありますので、断片化が解消されるまでデフラグを行ってください。

Q4 OS/パーティション ウィザードを起動させようとするとき、「System Commander is analyzing your system...」というメッセージが表示され、ウィザードが起動できません。

A4 OS 選択メニューから OS/パーティション ウィザードを起動させると、この状態になる場合があります。ウィザードの起動時にシステムの解析に失敗しているために起こります。以下の方法で、OS/パーティション ウィザードが実行できるかをテストしてください。

テスト①

1. OS 選択メニューから「設定」-「Hardware」を選択します。
2. 「Graphics size」を「Auto」から「640×480」に変更して「OK」ボタンをクリックし、「Esc」キーで OS 選択メニューに戻ります。
3. OS ウィザード、またはパーティション ウィザードが起動するのを確認してください。

テスト②

1. OS 選択メニューから「設定」-「Hardware」を選択します。
2. 「Graphics size」を「Auto」から「Off」に変更して「OK」ボタンをクリックし、「Esc」キーで OS 選択メニューに戻ります。
3. OS ウィザード、またはパーティションウィザードが起動するの
かを確認してください。

以上の方法でも起動しない場合には、システムコマンドーの製品 CD または、システムコマンドーのインストール時に作成したリスタート ディスク 2 から PC を起動して、OS/パーティション ウィザードが起動するの
かを確認してみてください。

システムコマンドーの製品 CD、リスタート ディスク 2 からパーティションの操作を実行する場合にはバックステップウィザードは使用できませんので、ご注意ください。

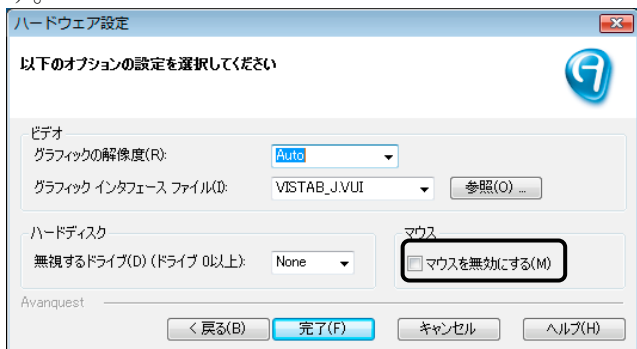
いずれの方法でも起動しない場合には、サポートセンターにご連絡ください。

Q5 OS/パーティション ウィザードや OS 選択メニューでマウスが使用できません。

A5 システムコマンドーで対応しているマウスは PS/2 接続のマウスのみです。USB 接続のマウスを使用している場合は、キーボードで操作を行う必要があります。

PS/2 接続のマウスを使用しても利用できない場合は、以下の手順でマウスが無効になっていないか、確認してください。

1. **Windows** を起動して、[スタート] – [すべてのプログラム] – [システムコマンドー9]をクリックし、ユーティリティ プログラムを起動します。
2. ユーティリティ ウィザードの「設定」を選択し、「次へ」をクリックします。
3. 「システムコマンドーのハードウェア設定」を選択し、「次へ」をクリックします。
4. ハードウェア設定の画面で「マウスを無効にする」にチェックが入っている場合は、チェックを外して「次へ」をクリックします。



5. [ファイル]メニューから[終了]を選択してユーティリティを終了します。再起動後、マウスが利用できるのかを確認してください。

※ マウスが利用できない場合は、キーボードを使用して操作してください。キーボード操作の方法は **Q6** を参照してください。

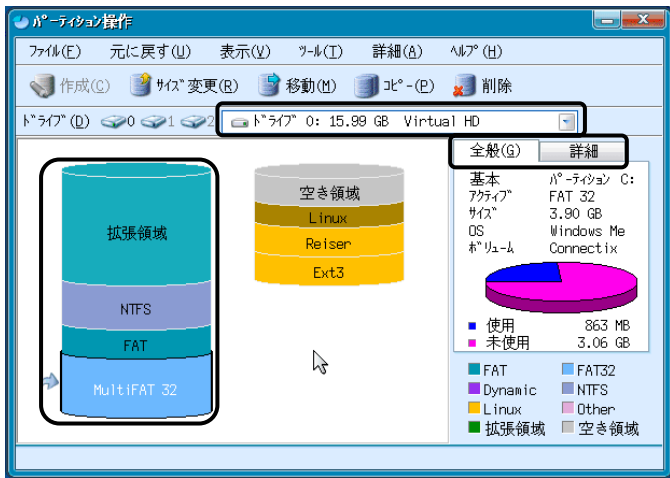
Q6 キーボードを使用したパーティション操作の使用方法について

A6 キーボードを使用して、パーティション操作を行う場合に使用可能なキーと操作方法について以下にまとめました。操作を行う際の参考にしてください。

■<Tab>キー

カーソルの位置を移動させることが可能です。

<Tab>キーでカーソル位置を移動させ、矢印(↑、↓、→、←)キーを押すと選択項目を変更できます。



■〈Alt〉キー

〈Alt〉キーを押すとカーソルがメニューに移動します。矢印(↑、↓、→、←)キーでメニュー項目を移動し、〈Enter〉キーを押すと選択項目が実行されます。

〈Alt〉キー単独ではなく、アルファベット(F, U, V, T, A, H, C, R, M, P, G, D)キーと組み合わせて、直接実行することもできます。

- ・ Alt + F 「ファイル」メニューを開く
- ・ Alt + U 「元に戻す」メニューを開く
- ・ Alt + V 「表示」メニューを開く
- ・ Alt + T 「ツール」メニューを開く
- ・ Alt + A 「詳細」メニューを開く
- ・ Alt + H 「ヘルプ」メニューを開く
- ・ Alt + C 「作成」ボタンを実行
- ・ Alt + R 「サイズ変更」ボタンを実行
- ・ Alt + M 「移動」ボタンを実行
- ・ Alt + P 「コピー」ボタンを実行
- ・ Alt + G 「全般」タブを表示
- ・ Alt + D ドライブを選択した状態にする
- ・ Alt + 数字 数字キーのドライブを選択した状態にする

■〈スペース〉キー

チェックボックスの変更(オン/オフの切り替え)ができます。

■〈Esc〉キー

選択項目や処理をキャンセルする際に使用します。

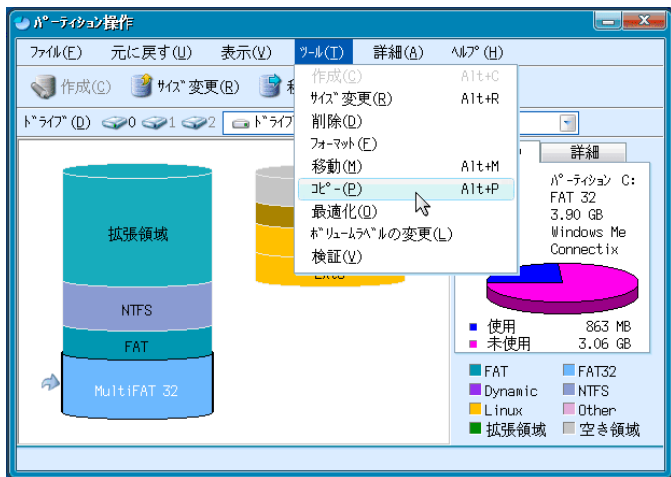
■〈Ctrl〉キー + 〈Esc〉キー

「スタート」メニューを表示するのに使用します。

■ 矢印(→、←、↑、↓)キー

選択されているパーティションやメニューなどの項目を移動する際に使用します。

下図では「Alt + T」キーで「ツール」メニューを開き、下矢印「↓」キーでメニュー項目を選択した状態です。実行する場合には<Enter>キーを押します。



Q7 起動時に「Missing SYSCMNDR.SYS」のエラーが表示されま
ず。

A7 このメッセージは、システムコマンドーがインストールされている
パーティションが変更された場合など、システムコマンドーの
MBR がシステムコマンドーの実行に必要なファイルを見つけれ
なかったときに表示されます。

また、システムコマンドーのファイルを意図せずに削除してしまっ
た場合にも、このメッセージが表示されます。システムコマンドー
のファイルは、システムコマンドーをインストールしたドライブの
「SC」フォルダに保存されています。

このような場合は、この画面で OS がインストールされているパー
ティション番号を選び、OS を起動した後にシステムコマンドーを
再インストールしてください。

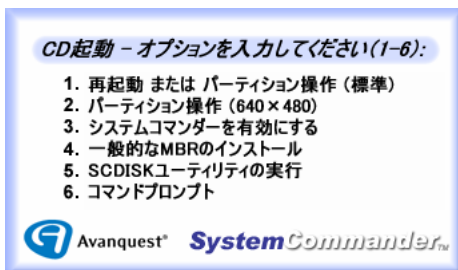
```
---Missing SYSCMNDR.SYS! Boot error: B-00

Partition 0* id=07 (NTFS)
Partition 1 id=07 (NTFS)
Partition 2 id=07 (NTFS)
Partition 3 id=00 (empty)
Select partition to boot, 0-3:
```

Q8 OS を追加インストールしたら、OS 選択メニューが表示されなくなりました。

A8 OS によっては、インストール時に MBR を書き換えるものがあります (Windows Vista/Me など)。その場合、システムコマンドーが無効の状態になるので、OS 選択メニューが表示されなくなります。そのような時は、システムコマンドーの製品 CD、もしくは起動ユーティリティ ディスク 1 から PC を起動し、システムコマンドーの MBR を更新 (再インストール) します。ここでは、製品 CD から起動した場合の操作方法を紹介します。

1. システムコマンドーの CD を挿入して、PC を起動します。
2. 以下の画面が表示されたら、「3」キーを押します。

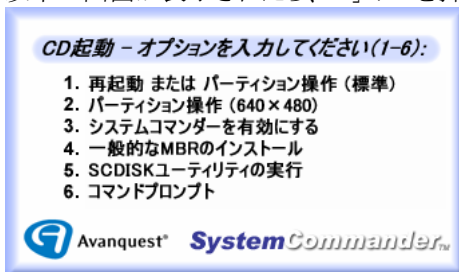


3. PC を再起動し、OS 選択メニューが表示されるのかを確認してください。

Q9 システムコマンドーをアンインストール後、起動時に「BOOT2」エラーが表示されます。

A9 システムコマンドーのアンインストールが正常に完了しなかった可能性があります。システムコマンドーの製品 CD、もしくは起動ユーティリティ ディスク 1 を利用して、システムコマンドーを削除します。ここでは、システムコマンドーの製品 CD を利用する方法を紹介します。

1. システムコマンドーの CD をセットし、PC を起動します。
2. 以下の画面が表示されたら、「4」キーを押します。



3. PC を再起動し、エラーが表示されずに OS が起動するのかわ確認してください。

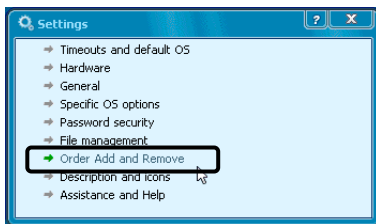
Q10 Linux をインストールしたのに OS 選択メニューに表示されません

A10 拡張領域に Linux をインストールした場合など、システムコマンド어가新規にインストールされた Linux を認識できない場合がまれにあります。この様な場合は、以下の操作を行って OS 選択メニューに追加してください。

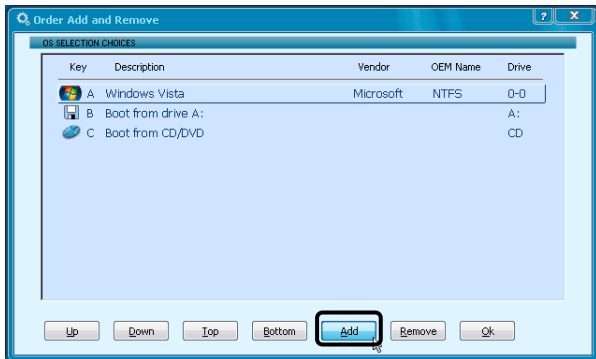
1. OS 選択メニューで「設定」ボタンをクリックし、「Settings」画面を開きます。



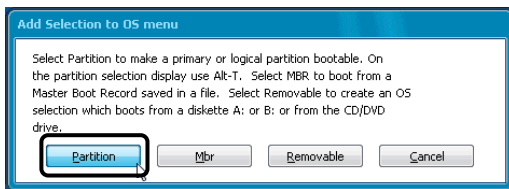
2. 「Order Add and Remove」をクリックします。



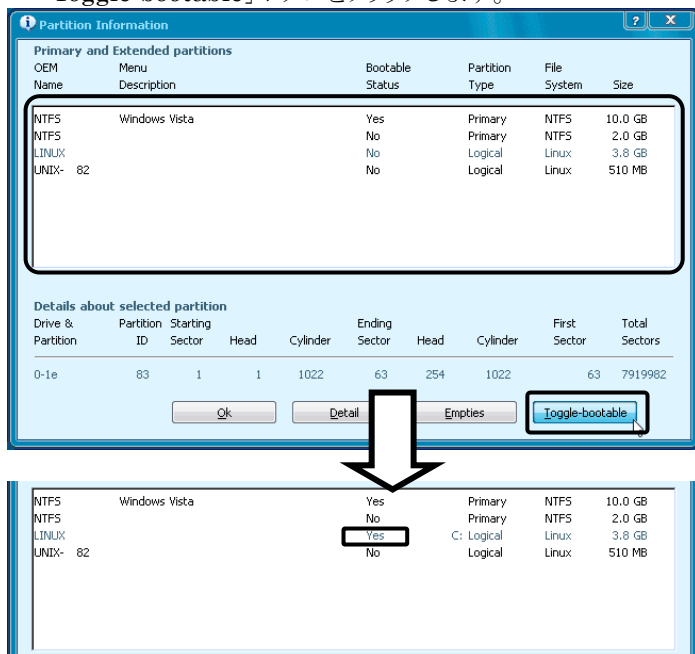
3. 「Order Add and Remove」ダイアログが表示されたら、「Add」ボタンをクリックします。



4. 「Add Selection to OS menu」ダイアログが表示されたら、「Partition」ボタンをクリックしてください。



5. インストールされた Linux のパーティションを起動可能な状態にします。Linux パーティションを選択し、「Toggle-bootable」ボタンをクリックします。

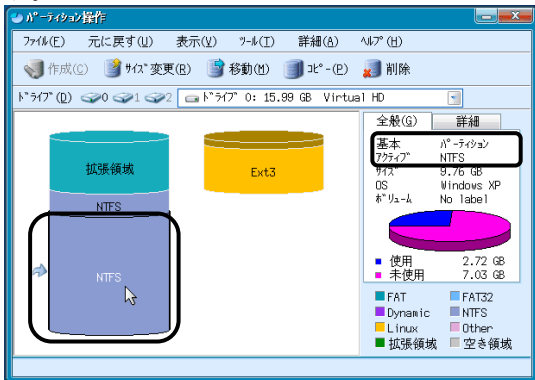


「Bootable Status」が「Yes」に変更されます。

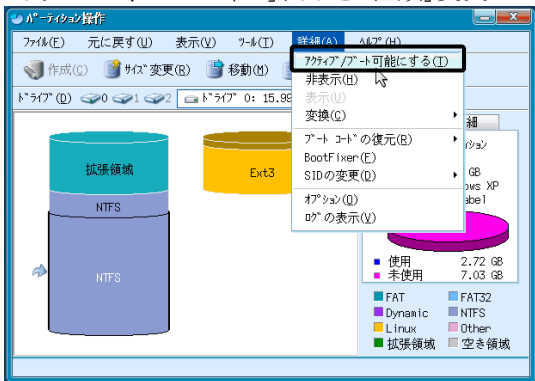
6. 「OK」ボタンを2回クリックし、「Esc」キーを押してOS 選択メニューに戻ります。Linux が追加されているのかを確認してください。

以上の操作を行って Linux が追加されない場合には、次の操作をお試しください。

1. パーティションのマニュアル操作画面を表示させ、アクティブに設定されている基本パーティションをマウスでクリックします。

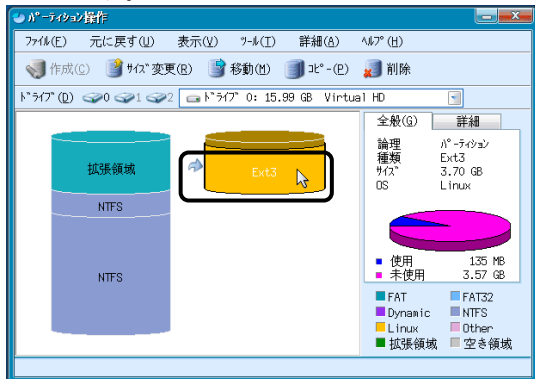


2. 「詳細」メニューの「アクティブ/ブート可能にする」をマウスでクリックして、「アクティブ」表示を「種類」変更します。

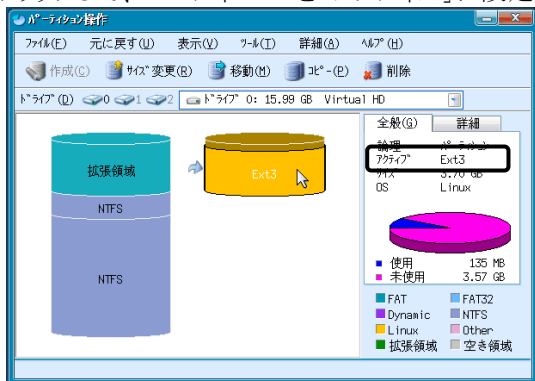


3. 「全般」タブの「アクティブ」表示が「種類」に変更されたことを確認します。

4. Linux がインストールされているパーティションをマウスでクリックします。



5. 「詳細」メニューの「アクティブ/ブート可能にする」をマウスでクリックして、パーティションを「アクティブ」に設定します。



6. 「スタート」-「終了」をクリックし、PC を再起動します。OS 選択メニューに Linux が追加されているのかを確認してください。